

# 意見交換会資料（総括表）

団体名	健康づくりについて	
	現在の取り組み	その他 (今後の取り組みや課題等)
いわき市	別紙のとおり	
いわき市医師会	<p>①いわき市が実施している特定健康診査や各種癌検診、国保ドック施設の精度管理と登録医の研修を適宜実施し、異常所見者の早期発見につとめている。</p> <p>②糖尿病の重症化例が多いため、いわき市糖尿病性腎症重症化予防プログラムを構築し、市内医療機関の協力を得て糖尿病腎症ハイリスク者の人工透析への移行を防止する等、住民の健康増進等につとめている。</p> <p>③休日夜間急病診療所への参加のためのバックアップ体制を整え協力医の確保に努め、救急医療・地域医療支える取り組みを進めている。</p> <p>④多職種連携のすそ野を広げ、在宅医療参加医師を増やすため『在宅医療多職種研修会』を開催し、在宅医療の実践に必要な専門的知識と技術の習得に寄与し高齢者が住み慣れた地域で自分らしい生活を送ることができるよう高齢者福祉の充実に努めている。</p> <p>⑤病院勤務医・診療所在宅医が公民館などで語る「在宅医療出前講座」を開催し、在宅医療・認知症に関する知識の啓発に努め、いわき市版リビングウィルの「私の想いをつなぐノート」の普及に努めている。</p> <p>⑥健診受診率が低く、虚血性心疾患・脳卒中の罹患率・死亡率が高いことから、市内発行のフリーペーパーを活用のほか、若手世代向けの『健康・医療出前講座』を開催し、本市の医療介護資源が乏しい現状や健診の重要性、健康・医療に関する正しい知識の向上等、市民への啓発活動を展開している。</p> <p>⑦いわき市地域包括ケア推進会議および各中地域ケア会議に参加し、地域の見守り活動・認知症カフェ・生活支援サービスのサポートに努めている。</p> <p>⑧小学校において癌に関する教育実践講座や認知症絵本講座を開催し、自他の健康と命の大切さや共に生きる社会づくり教育に貢献している。</p> <p>⑨市民公開講座を開催し、検診の重要性・健康に関する知識の向上に努め、市民の意識の高揚と健康保持増進につとめている。</p> <p>⑩いわき地域産業保健センター事業を推進し、過重労働者の健康相談と指導・事業場等を巡回し環境改善等を指導するなど、労働者の健康管理と健康づくりに寄与している。</p>	<p>①医師の高齢化、医師間による温度差。</p> <p>②市民向け講座や小学校等での事業を展開する際、行政及び地域包括支援センター、教育委員会等との連携が必要となるが、必ずしも取り組み意識が一致しない場合もある。</p>
いわき商工会議所	<p>○「スポーツによる人・まちづくり推進協議会」を通じた健康増進事業の実施</p> <p>○関係機関と連携した「健康経営セミナー」の開催</p>	
医療創生大学	<p>本年度より、医療創生大学として大学名も改称し、薬剤師、看護師、理学療法士、作業療法士の養成を目的とした医療系大学に生まれ変わった。健康づくりの現在の取り組みとしては、大学本来の学生教育という中で「健康づくり」をサポートする人材の育成に取り組んでいるところである。また、大学が主催する講習会などを通し、市民の皆様への「健康づくり」への啓蒙に取り組んでいる。</p>	
東日本国際大学	<p>1. 保健管理センターを中心に、学校医との連携のもとに学生、教職員の健康管理に留意している。</p> <p>①定期健康診断</p> <p>②ストレスチェックテストの実施</p> <p>③健康相談</p> <p>④いわき市と連携して学内での啓発活動</p> <p>2. 学生相談室の充実を図る。 メンタル面に課題を抱える学生に対する相談の充実を図っている。</p> <p>3. 健康社会戦略研究所の開設と研究の推進 今後の社会を考えるうえで、重要なテーマである健康社会実現のために、研究所機能を高めていく。 11月に公開研究会を開催予定</p> <p>4. 健康を意識したサークル活動 ダイエット部を設立、グループで体を動かすこと(水泳やウォーキングなど)に積極的に取り組む。</p>	
いわき市病院協議会	<p>○救急医療関連の市民フォーラムを年1回開催</p> <p>○介護関連の市民フォーラム(介護フェア)を年1回開催</p> <p>○地域医療構想会議など、医療・介護関連の会議・意見交換会へ出席</p> <p>○医師会と協力し、在宅医療出前講座を開催</p>	<p>いわき市民の健康を守る、特に脳卒中・虚血性心疾患の死亡率を下げるために</p> <p>1. 検診事業のさらなる推進</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・市民とくに山間部の方々の健康・検診に対する意識の啓蒙</li> <li>・検診受診の推進</li> </ul> <p>2. 認知症を含め、医療から介護へのシームレスな連携のさらなる強化</p> <p>3. 医師不足・医療者不足対策</p>

# 意見交換会資料（総括表）

団体名	健康づくりについて	
	現在の取り組み	その他 (今後の取り組みや課題等)
いわき市歯科医師会	<ul style="list-style-type: none"> <li>○歯とお口の健康週間(6月上旬)               <ul style="list-style-type: none"> <li>・市内小、中学生を対象とした作品コンクール及び公衆衛生に関するセミナー</li> <li>・いわき市民の口腔衛生に関する啓発活動</li> </ul> </li> <li>○障がい者歯科研修</li> <li>○1歳6か月、3歳児健康診査</li> <li>○介護予防、要介護者の口腔機能支援               <ul style="list-style-type: none"> <li>・いわき市民、介護施設入居者の口腔機能向上支援。</li> </ul> </li> <li>○事業所歯科健康診査               <ul style="list-style-type: none"> <li>・産業従事者の健康増進と口腔疾患の予防、歯科保健の正しい知識の普及と啓発を行う。</li> </ul> </li> </ul>	
いわき市薬剤師会	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 薬のプロとして、処方箋や市販の医薬品の供給。 また、その情報提供。</li> <li>2 かかりつけ薬剤師、薬局を持つことを市民に推奨し、           <ul style="list-style-type: none"> <li>・薬の一元的な管理</li> <li>・24時間の対応</li> <li>・医師や医療機関との連携の機能をうまく活用して、各個人の健康維持に寄与する。</li> </ul> </li> </ol>	<p>・薬以外の健康相談に対応できる薬局(健康サポート薬局)を育成し、市民や関係する職種の相談窓口にしていきたい。</p> <p>(課題) 「かかりつけ薬剤師」「健康サポート薬局」の認知度が低い。</p>
福島県国民健康保険団体連合会	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 健診受診率・保健指導実施率10%アップに向けた支援(別添資料参照) 福島県におけるメタボ該当及びメタボ予備群の増加、生活習慣病罹患者の増加といった状況の中、生活習慣病等の改善には、健診による該当者(予備群)の早期抽出・保健指導が求められる。そのため、県と連携し「データの活用」「人材育成・人材派遣」「民間事業者の活用」「関係機関への働きかけ」を一体化した事業展開を行い、3年間かけ健診受診率・保健指導実施率アップへ向けて保険者支援を実施している。</li> <li>2 情報提供 本会ホームページ及び各種研修会等にて福島県国保の特定健診等情報提供を各保険者に実施している。 &lt;情報提供項目&gt; ○国保保険者別 特定健診受診率・保健指導率、 ○国保保険者別特定健診検査項目有所見者状況 ○福島県国保 特定健診及び医療における冊子の作成</li> <li>3 国保データヘルスの推進 国保保険者がデータヘルス計画を効率的・効果的にPDCAサイクルに沿って実践できるよう有識者による助言・支援を実施している。 ○年2～3回 &lt;内容&gt; 各保険者が立案するデータヘルス計画の個別保健事業計画の実施及び評価にかかる助言、中長期目標達成に向けた単年度評価にかかる助言支援を実施している。</li> </ol>	

# 意見交換会資料（総括表）

団体名	健康づくりについて	
	現在の取り組み	その他 (今後の取り組みや課題等)
<p>全国健康保険協会 福島支部 (協会けんぽ)</p>	<p>○健診・特定保健指導の取り組み</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・協会けんぽ加入事業所に対し、年度当初に生活習慣病予防健診(35歳～74歳の被保険者対象)の案内を送付。新規加入事業所への案内も随時送付。</li> <li>・協会けんぽ加入の被扶養者(40歳以上)に対し、年度当初に特定健康診査受診券と同時に市町村の集団健診等の受診方法を掲載したチラシを送付。一部の市については、がん検診の同時受診を勧奨するチラシも同封。</li> <li>・協会けんぽ加入の被扶養者(40歳以上)を対象に、ショッピングセンター等における支部独自健診(出張0円健診)を実施。</li> <li>・健診当日の特定保健指導を推進するため、生活習慣病予防健診実施機関へ特定保健指導実施契約について働きかけ。</li> </ul> <p>○重症化予防の取り組み</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・血圧・血糖値が要治療と判定され、医療機関を受診していない者に対し文書による受診勧奨を実施。重症域者に対しては、文書による二次勧奨、保健師による電話勧奨を実施。</li> <li>・かかりつけ医と連携した糖尿病性腎症重症化予防の個別指導を実施。</li> </ul> <p>○「健康事業所宣言」参加事業所への取り組み</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・宣言事業所の従業員に対し、健康づくりに関する情報等を掲載した「ヘルシーライフサポートブック」を配布。</li> <li>・宣言参加事業所の健康度が分かる「事業所健康度レポート」を年1回配布。</li> <li>・福島県歯科医師会との連携により、歯科医師による歯周病講習会(出前講座と歯周病検査またはブラッシング指導)の開催。</li> <li>・福島産業保健総合支援センターとの連携により、専門家によるメンタルヘルス研修会の開催。</li> <li>・健康機器(血管年齢測定器)のレンタル。</li> </ul>	<p>・特定保健指導の推進のためには、健診当日に健診機関での特定保健指導が最も効果的と考えるが、全ての健診実施機関において、特定保健指導の実施が可能ではないため、実施機関の拡大が課題となる。</p>
<p>いわき地区 商工会連絡協議会</p>	<p>いわき地区の商工会は、内郷、遠野町、田人町、好間町、三和町、小川町、四倉町、久之浜町の8つの地域にあり、全体で約1,900の事業所が会員となっている。会員のほとんどが小規模事業者であり、事業主や従業員の健康管理面においては、大企業や中小企業とは大きく開きがある。</p> <p>そこで昨年度より、各商工会では「いわき地域産業保健センター」と連携し、産業医選任義務のない小規模事業場(労働者50人未満)の事業者や労働者の健康相談を積極的に活用するよう周知案内を行っている。</p> <p><b>相談内容</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>①事業主や労働者の健康管理</li> <li>②健康診断の結果に基づく医師からの意見聴取</li> <li>③長時間労働者に対する面接指導</li> <li>④ストレスチェックに係る高ストレス者の面接指導</li> </ol>	
<p>福島県保健衛生協会 いわき地区センター</p>	<p>当協会は、地域、職域、児童・生徒などを対象とした健康診断を主な事業としている。併せて、健康に関する思想普及にも取り組んでいる。</p> <p>(現在の取り組み)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・今年度から、原則無料の健康講話をスタートさせた。また、福島県が行うがん教育実践事業の外部講師への登録を済ませ、来年1月にはいわき市内の中学校でがん教育を予定している。</li> <li>・健康受診率の向上を目的とした街頭キャンペーンへ参加、協力を行っている。</li> <li>・地域で健康づくり活動を行う団体(いわき市健康を守る婦人連盟)への支援を行っている。</li> </ul>	<p>今後、重点的に取り組む必要があると考えるのは、小学生や中学生への健康教育(栄養、運動、禁煙、健診受診、がん、生き方)など。</p>

# 意見交換会資料（総括表）

団体名	健康づくりについて	
	現在の取り組み	その他 (今後の取り組みや課題等)
いわき健康管理センター	<p>浜通り地区を中心に健診事業を担っており、職域健診及びいわき市各種健診を行っている。 生活習慣病及びがん検診において早期発見し、早期治療につなげるのが役割である。 また、生活習慣病に関しては予防することを目的とし、保健指導の実施やオプション検査の充実など健康づくりに関心を持ってもらう取り組みに力を入れている。 しかし、いわき市の健診受診率は国及び県内と比較しても低い傾向が続いており、まずは市民の方へ健診を受けてもらう呼びかけをし、「なぜ受診ができないのか」問題の根底を見直す必要性を感じている。 ある会議での談話の中で、宮城県や千葉県など政令指定都市がある県でも海に近い都市では健診の受診率が低いとのお話があり、いわき市も地域性における問題点を見出すことで、健診の受診勧奨につながればと思う。</p>	<p>現代のライフスタイルに合わせ、仕事帰りに受診できる健診や休日健診など生活環境に応じた取り組みを検討している。</p>
いわき市健康推進員協議会	<ul style="list-style-type: none"> <li>○市委託事業 <ul style="list-style-type: none"> <li>・健康づくり伝達講習会</li> <li>・健康づくり普及活動</li> <li>・健康推進員育成支援研修会</li> <li>・健康づくり講座</li> </ul> </li> <li>○県委託事業 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ふくしま食の基本推進事業など</li> </ul> </li> <li>○日本食生活協会事業 <ul style="list-style-type: none"> <li>・親子の料理教室</li> <li>・世代別生活習慣病スキルアップ事業など</li> </ul> </li> <li>○自主活動 <ul style="list-style-type: none"> <li>・市保健事業への協力など</li> </ul> </li> </ul>	<p>会員数が年々減少しており、また地区の会員数にもばらつきがあるため、地区ごとの活動に差がでる恐れがある。 また、講習会などを開催する時に、人を集めることが難しい。</p>
福島県栄養士会 いわき支部	<ul style="list-style-type: none"> <li>①栄養ケア・ステーション事業 市町村や医療機関(診療所)社会福祉施設等からの栄養指導の業務依頼に対応できる所(ステーション)である栄養ケア・ステーションで、要望に応じて栄養指導、及び料理教室、講演活動等に取り組む。</li> <li>②被災者支援事業 被災者に対し、それぞれの個性特性に適合した栄養指導、栄養ケアを行う。保健福祉事務所、各市町村などの要請に応じて、栄養指導、特定保健指導、食事指導、調理指導などを行う。</li> <li>③地域包括ケアシステム構築推進事業 自立支援型地域ケア会議の実施を支援するために、地域ケア会議の助言者となる専門職の人材育成、自立支援型地域ケア会議に対する現地支援を行う。</li> <li>④低栄養予防事業 低栄養の傾向にある後期高齢者を対象に、受診勧奨、生活習慣改善及び訪問(来所)栄養相談を行い、生活習慣を改善し、栄養改善を図る事により、健康の増進と心身機能の低下を予防する。</li> <li>⑤イベント協力の栄養相談事業 市の健康課題である高血圧や肥満等の生活習慣病の予防や改善に向け、各種イベント会場など直接市民と触れ合う場において、個々の市民の個別性や特性に合わせた栄養指導・食事指導を行う。</li> </ul>	
いわき市社会福祉協議会	<ul style="list-style-type: none"> <li>○全職員に健康診断を実施</li> <li>○衛生委員会を毎月実施し、健康に関するメニューも取り入れている。</li> <li>○市の受託事業である「つどいの場」(65歳以上の高齢者等が介護予防を目的に集う)において、高齢者の介護予防や健康に関する内容(シルバーリハビリ体操・口腔ケア・栄養・健康講話など)を積極的に取り入れている。(R1.8月現在 273ヶ所・6,697人)</li> <li>○各地区協議会で実施している、「子育てサロン」「介護予防教室」等で、食育・運動・栄養・口腔ケア・衛生など、健康に関するメニューを取り入れている。</li> <li>○住民支え合い活動(生活に不安を抱える方々を見守り支援する、住民相互による自主的な支え合い活動)による声掛け訪問や生活支援活動を実施することにより、住民同士に新たな繋がりが生まれ、日常的な声掛け、買い物やつどいの場などへ誘い合って行く機会が増え、心身機能の向上につながっている。(R1.8月現在3層協議体34行政区)</li> </ul>	

# 意見交換会資料（総括表）

団体名	健康づくりについて	
	現在の取り組み	その他 (今後の取り組みや課題等)
いわき市民生児童 委員協議会	<p>民生児童委員は、地域の身近な相談相手として、地域で暮らす住民がそれぞれの能力に応じて自立した生活が営めるよう、必要に応じて生活状態を適切に把握し、必要な情報の提供や関係機関とのつなぎ役を担っている。</p> <p>(具体的な活動内容)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・担当区域内の世帯訪問時に、熱中症予防や感染症予防について適宜情報を提供する。</li> <li>・子育てサロンや世帯訪問を通して、子育て家庭の課題と向き合い、心身ともに健やかな子育て、子育てを応援する。</li> <li>・つどいの場や配食サービスなど、地域活動や福祉サービスに関する情報を提供し、住み慣れた地域で本人の望むくらしの継続を支援する。</li> </ul>	<p>日ごろの訪問活動等において、活動に支障のない範囲で徒歩による訪問を推奨するなど、民生児童委員自らが健康意識を高めていきたい。</p>
いわき市体育協会	<p>本協会は「競技力の向上」と「生涯スポーツの普及・振興」を二大目標として掲げ、県体育協会や各加盟団体等と連携を図りながら、各種スポーツ事業を展開しているところであり、特段、健康づくりの観点からの取り組みは実施していないが、本協会の事業を推進することで、結果として、運動不足の解消や体力低下の防止など、市民の皆様の健康づくりにも繋がっているものと認識している。</p>	
いわき市 P T A連絡協議会	<p>本会においては、いわき市内各小中学校児童・生徒の健全育成、健康な心と身体の発達に向けて組織をあげて取り組んでいる。</p> <p>1 いわき市PTA研究大会の開催 年1回、市内PTA関係者、教員等が一堂に会し、主に児童・生徒への親としての関わり方について学びます。 (食を通しての健康づくり等。本年は11月開催予定。「夢をかなえる脳の話」)</p> <p>2 母親委員会リーダーセミナーの開催 市内母親委員約200名を対象に「子どもの心に寄り添う思春期講座Ⅰ・Ⅱ」 講師：東京医療保健大学渡會睦子先生</p>	<p>児童・生徒の心身の健やかな成長に欠かすことのできない健康の大切さを今後共PTAとしての立場から伝えていきたい。</p>
いわき労働基準監督署	<ul style="list-style-type: none"> <li>○労働安全衛生法に基づく健康診断の実施、健康診断の事後措置の実施に係る指導</li> <li>○労働安全衛生法に基づく「ストレスチェック制度」の実施に係る指導</li> <li>○「心の健康保持増進のための指針」などメンタルヘルス関連通達の周知</li> <li>○「『過労死等ゼロ』緊急対策」を踏まえたメンタルヘルス対策の推進</li> <li>○「働き方改革関連法」に基づく長時間労働の是正のための指導</li> </ul>	